

令和7年度 第1回名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会

日時：令和7年6月20日（金）18：30～20：00

場所：名寄市役所 名寄庁舎4階大会議室

出席者（13名）

◆委員会

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション北管理部 吉田 俊也 教授

名寄市立大学保健福祉学部栄養学科 工藤 慶太 教授

名寄商工会議所 臼田 進 専務理事（委員長）

風連商工会 川原 晴澄 補助員

一般社団法人 名寄青年会議所 泉谷 暖 専務理事

JA道北なよろ 小川 和則 代表理事専務

上川北部森林組合 田中 英彰 専務理事

上川北部石油業協同組合 木賀 義友 副理事長（欠席）

ヤマト運輸株式会社 名寄営業所 佐竹 利幸 支店長（欠席）

北海道電力ネットワーク(株)名寄ネットワークセンター 蝦名 一喜 所長

北星信用金庫 木全 哲也 地域支援部長

名寄市校長会 高橋 憲嗣 名寄小学校校長

名寄建設業協会 五十嵐 幸次 理事（副委員長）

公募 若松 衣利加 委員

公募 山田 裕子 委員

◆事務局

総合政策部総合政策課 瀬野 課長

総合政策部総合政策課総合政策係 斉藤 主査

総合政策部総合政策課総合政策係 横澤 主事

市民部 紀國谷 次長

市民部環境生活課 合掌 係長

1 開 会

臼田委員長より開会

2 議 事

【報告事項】

(1) 名寄市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について
〔資料 1〕

(2) 令和 6 年度からの取組について〔資料 2〕

(3) 令和 6 年度の公共施設燃料使用量について〔資料 3〕

(1) ～ (2) 事務局（総合政策課）から説明。

(3) 事務局（市民部環境生活課）から説明。

【補足説明】

- ・「(3) 令和 6 年度の公共施設燃料使用量について」の P4 使用料金については、名寄市内にある施設等のうち市の一般会計で支出を行っているものの金額である。また、未確定数値であり、あくまで参考として掲載している。

【質問・意見】

(2) 令和 6 年度からの取組について

- ・出前講座を行ったピヤシリ大学の年齢層はどのようなになっているか。（委員）
→60 歳以上の方が多い。（事務局）

(3) 令和 6 年度の公共施設燃料使用量について

- ・水道料が大きく減ったことはどのような要因があるのか。（委員）
→認定こども園あいあいの運営開始により、電気使用量は増加した一方、水道使用量は減少していた。（小学校にかかる水道料金が大きく減少していた。これは智恵文小学校が智恵文中学校に統合したことが要因と考えられる。児童数も減少していることから、小中学校共に減少傾向になると予測される。）（事務局）

【協議事項】

(1) 令和 7 年度事業計画について（総合政策課）〔資料 4〕

- 1 ロゴデザイン選定事業
- 2 なよろエコパートナー事業
- 3 小学生への環境教育推進事業

(2) 「夏の省エネ総点検の日」の取組の考え方について

(1) 事務局（総合政策課）から説明。

(2) 事務局（環境生活課）から説明。

【補足説明】

- ・「(2) 夏の省エネ総点検の日」の取組の考え方について」

8月1日は「夏の省エネ総点検の日」となっており、夏の冷房使用によるエネルギー消費量の増加を踏まえ、省エネルギーへの意識を高め、実践を促す日として、経済産業省が制定している。

名寄市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の基本方針6 環境教育・連携体制の推進の中でも、「夏の省エネ総点検の日」に合わせた取組の実施を掲げている。

次年度以降は市民や事業者が一体となった事業について検討をしていくため、意見などを伺いたい。

→この場では議論が難しいため、引き続き検討する。意見等あれば寄せていただきたい。（事務局）

【質問・意見】

(1) 令和7年度事業計画について

- ・小学校2年生は炭化センターでごみの分別や3Rについての学習、小学4年生はサントリーで実施しているペットボトルの回収などの学習など環境に関する学習を行っている。（委員）
- ・民間の方がゼロカーボンに関わるうえで、営利を目的とするので、メリットが必要である。（委員）
- ・水道の使用量が減っていくのは人口の減少が影響している部分もあると思うが、使用量が減るとインフラとしての観点から修繕費など問題な部分もある。（委員）
- ・エコパートナー事業について単純な宣言書を取り交わすだけでは無意味だと思う。事業所の立場としては取り組んでいくべきと思うが、実際に取り組むのは社員であるので、社員にメリットがある仕組みになるとよい。取組の内容達成したら、会社半分・行政半分でインセンティブを与えるなど、社員の取り組む意欲を生み出せるものがよいと思う。（委員）

→福利厚生の一環の仕組みとして実施できるとよいのでは。（委員）

→インセンティブのようなものが必要であるのか引き続き検討していく。（事務局）

→今年度実施しなかった分を次年度に回すなど柔軟な対応をお願いしたい。（委員）

- ・エコパートナー事業について、自分の会社にとってのメリットは企業のイメージアップの部分が大きい。例えば取組の中で、優秀な団体や個人に表彰を行うなど、仕組みがあれば自社の宣伝も行えると思っている。（委員）

- ・ゼロカーボンに関する制度自体をどのように市内に普及させるのか事務局として考えはあるか。（委員）

→ロゴデザインについては、9月に選定を行い、広報等の市の媒体でPRを行っていく。今後ゼロカーボンに関わる事業で活用することで市民に浸透していくことが望ましいと考えている。また、紐づいてロゴデザインや事業自体も浸透していくと考えている。PRの手法等も含めてご意見いただきたい。（事務局）

- ・ホワイトマスターのような形で、ゼロカーボンに取り組む団体・個人を表彰するものであれば、予算もかからずできるのではないか。企業PRにもなる。（委員）
- ・下川町だと植樹でカーボンオフセットをふるさと納税として行っている。名寄市でふるさと納税として、ゼロカーボンに関係する商品を出して、事業の原資にするという考えもあるのではないか。下川町は植樹の寄付も多く集まっているとのことなので、名寄市も行えるのではないか。（委員）
- ・周知方法について、市の広報だと弱いと感じている。イベントでの周知や広報以外の周知も必要だと考える。（委員）
- ・周知方法に関連して、エコパートナー事業に記載のある、環境イベント等への協力はどのようなイ

ベントを想定しているか。(委員)

→昨年度だと名寄消費者協会主催のイベントに市の環境生活課が環境ブースを出展していた。また、今後このようなイベント等を実施する際の事業者協力として呼びかけていきたいと考えている。

(事務局)

→子どもも楽しめるイベントなどができるとよいと思うので、他自治体の事例なども参考にしながら、なるべく手間のかからない形で実施していけるとよいと思う。(委員)

- ・8月1日の「夏の省エネ総点検の日」の取り組みを行うのであれば、てっし名寄まつりなどもあるが、取り組みは実施しないのか。(委員)

→てっし名寄まつりに突然ブースを出しても違和感を感じる市民の方もいるかと思う。これからしっかりとステップを踏んでブースの出店などにつなげていきたい。

また、名寄市広報の発信力などの話もあったが、周知の手段としてLINEが有効である。LINEでの企業の取組紹介なども効果があると考えます。(事務局)

- ・エコパートナーについて協力事業者が報告をする内容はできるだけ具体的なほうが良いと思う。わかりやすくないと取り組むハードルが高くなる。高くないようにわかりやすい内容・項目で実施すべき。(委員)

→今年度はより多くの方に関心を持っていただくことを目指している。ハードルが上がらないように心がけていく。(事務局)

3 その他

(1) Jクレジット制度を活用した森林由来クレジットの創出について

(2) 今後のスケジュールについて

(1) ～ (2) 事務局（総合政策課）から説明

【補足説明】

- ・「(1) Jクレジット制度を活用した森林由来クレジットの創出について」

市の耕地林務課が森林吸収源クレジット化して売買をする取り組みについて、今年度中に支援事業者の協定を結び、来年度から実際に売買することを検討している。単年度で1千万円程度の収入を見込める。会議中予算が無いという話が多くあったが、この収入を原資にすることも検討できる。

- ・「(2) 今後のスケジュールについて」

事業計画に沿って、本委員会を開催するところだが、現段階で合計4回の開催を見込んでいる。

また、直近第2回の開催では、ロゴデザインの選定事業の選定委員会も兼ねて、9月の第2週で調整をさせていただきたい。改めて日程調整をさせていただく。

【質問・意見】

- ・前回の委員会ではごみの担当は別の部署になっていたと認識している。市民レベルでゼロカーボンに取り組む際に、ごみの分別に関する分野等は必須だと思う。メンバーに入っていただくほうが良いと思う。廃棄物に関する取り組むも必要だと考える。(委員)

→ご意見いただいた通り部内の協力体制は必要と考える。検討する。(事務局)

4 閉 会

[会議資料]

- 資料 1 名寄市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
- 資料 2 令和 6 年度からの取組について
- 資料 3 令和 6 年度の公共施設燃料使用量について
- 資料 4 令和 7 年度事業計画
 - 別紙 1 「ゼロカーボンシティ名寄」ロゴマークデザイン募集要項
 - 別紙 2 「ゼロカーボンシティ名寄」デザイン応募用紙